

一級河川鳴瀬川水系 南川 南川ダムの効果(令和元年10月11~13日)【速報】

宮城県

○南川ダムでは、令和元年10月11~13日にかけて、台風19号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が326mm,最大時間雨量では42mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画460m³/sに対し、**210.86m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の99.9%(210.64m³/s)を貯留し**、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



南川ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	12日 19時 40分	終了	13日 10時 0分
・ダム流域累計雨量	326 mm	(11日 20時 ~ 13日 5時)	
・最大時間雨量	42 mm	(12日 23時 ~ 13日 0時)	
・ダムへの最大流入量	210.86 m ³ /s	(13日 0時 50分)	
	(1位/79洪水)		
・最大流入時の放流量	0.22 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	210.64 m ³ /s	(約 99.9%)	

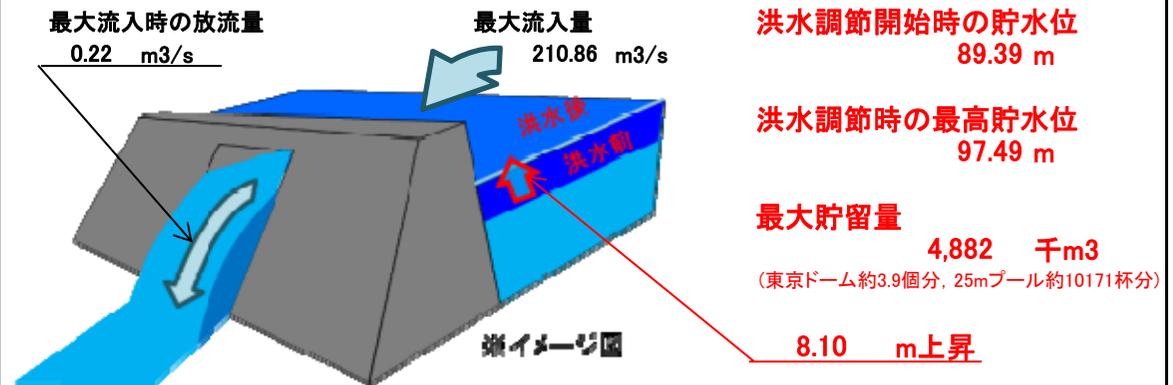
ダムの状況写真



貯水位 EL 97.49m
洪水後 (10月13日10時00分)

南川ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 99.9% をダムに貯留しました。



○南川ダムの洪水調節等により、吉田川の落合地点で、**水位を約0.91m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真



水位 1.56m 流量 62.47m³/s

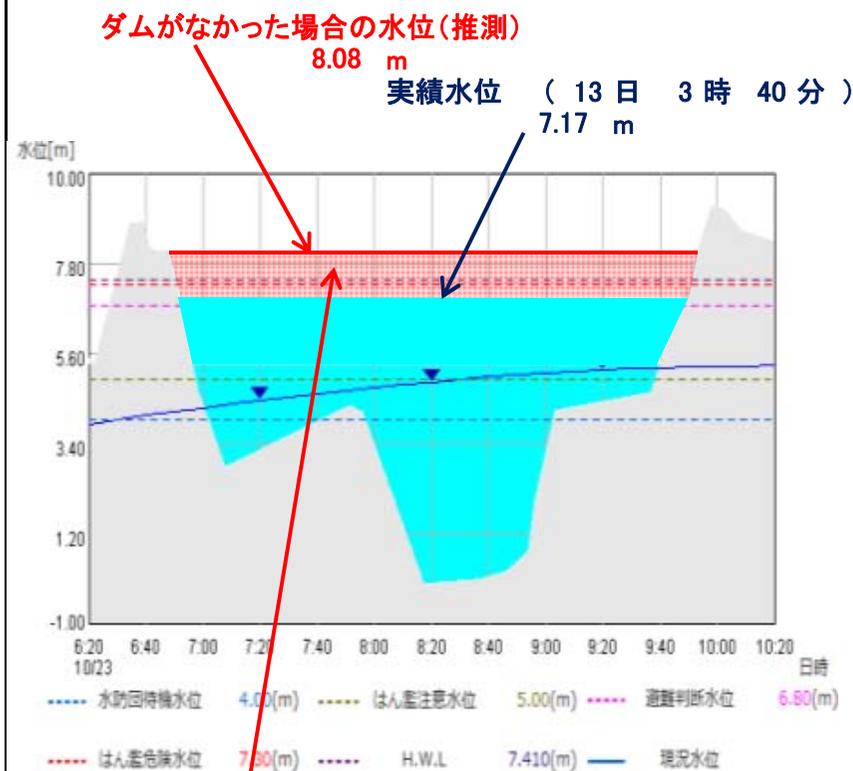
吉田川(魚板橋上流)(洪水後10月13日11時50分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)



水位 1.56m 流量 62.47m³/s

吉田川(魚板橋下流)(洪水後10月13日11時50分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)

吉田川(落合地点)の水位低減効果



ダムにより約0.91mの
水位低減効果を推測